

レジメン名 (治療名)					
mFOLFOX6					
癌腫	レジメン(略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
大腸癌	mFOLFOX6	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input checked="" type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	オキサリプラチン【LOHP】	85mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間	Day1
2	レボホリナート【1-LV】	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2時間	Day1
3	フルオロウラシル【5FU】	400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	12分	Day1
4	フルオロウラシル【5FU】	2400mg/m <sup>2</sup>	持続点滴静注	46時間	Day1～3
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		2～3週間ごと			
総コース数及び 総投与量の限界		術後：12コース 進行再発：PDまで			
プレメディケーション ポストメディケーション		5HT3拮抗薬、デキサメタゾン、ファモチジン、 クロルフェニラミン、アプレピタント			
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投与順(5)ではHOME POMP C-SERIES C100020を使用。</li> <li>・投与時間が56時間を超える場合は、抜針を行ってよい。</li> <li>・終了後は自己抜針を行う。初回実施時に自己抜針可能か確認する。</li> </ul>			

≪投与順≫

(1) 生理食塩液	50mL	
デキサメタゾン 8mg	2V	
ファモチジン 20mg	1A	
クロルフェニラミン 5mg	1A	
オンダンセトロン 4mg	1A	30分
(2) 5%ブドウ糖液	500mL	
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	2時間
(3) 5%ブドウ糖液	500mL	
オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup>	2時間
(4) 生理食塩液	50mL	
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	12分
(5) フルオロウラシル	2400mg/m <sup>2</sup>	
生理食塩液にて全量 95mL に調整		46時間
(6) 生理注シリンジ	10mL	1本

制吐剤：アプレピタント 125mg 1Cap 分1 1日分  
 アプレピタント 80mg 1Cap 分1 2日分